

3.1 ビキニパンツを使って学習し、 誘いあって静岡・焼津へ！

ビキニ・パンツの内容(16ページ) ￥200/冊

- 核兵器のない世界はゆるぎない流れ
- 被爆国として、憲法9条と非核三原則をもつ国として
- 原発から撤退し、自然エネルギーへの転換を
- 原爆の被害は、66年過ぎた今も被害者を苦しめ続けています。
- 新アピール署名のうねりづくり 3・1ビキニデーへ



◇ 歴史を動かした「原水爆禁止署名」(3.1ビキニデーより)

広島、長崎に続いて三度核の被害を受けた日本国民は、その日から講義の行動に立ち上がりました。全国の地域ではじまった「核実験中止!」「核兵器禁止!」の署名は爆発的に広がり、翌年8月には当時の有権者人口の半数にあたる3200万に達しました。

この事件を機に日本国民は原水爆禁止へと大きな歴史の一步を踏み出しました。

翌1955年8月には原水爆禁止世界大会が開催され、同じ年、原水爆禁止を求める初めての科学者宣言として有名なラッセル・アインシュタイン宣言が出され、核兵器禁止の声は世界に広がっていきました。(※参加方法は県原水協へ)

核兵器全面禁止条約交渉開始へ署名の大波を

茨城での現在の到達点
8,752 筆

日程変更のお知らせ

※ 平和行進茨城県実行委員会結成総会
3月10日(土) pm1:30~4:00
場所 水戸市国際交流センター

2011 年国連署名提出の反響

日本原水協は昨年10月、一〇二万九〇三十一筆の署名を国連に提出したところ、世界各国から大きな反響が返ってきました。

二、三紹介します。

ノーベル賞受賞者
・ジャック・スタインバー
・ガール物理学者(米)

原水協へ▽あなたがた

の行動に感謝します。

核兵器は私たちの社会にとつて、とてつもない脅威です。なんといいても問題は、膨大な量の核兵器の備蓄を押し進め、全面核軍縮の前進を阻んでいる米国です。例えばいま、受け入れている核の傘から離脱するなど、日本は米国に圧力をかけられないでしょうか？

(2面につづく)

新春6・9行動

原水協・新婦人・民商など
24名が署名参加

松の内も明けやらぬ一月六日、水戸駅南口に、24名が署名行動に集合しました。

この日はとても暖かく、署名日和とも言いたくなるくらいでした。正月のわりには行きかう人も少なく、これも不景気の影響なのでしょう。

反応は好評で、「核兵器全面禁止のアピール」、「東海2号炉の廃炉を求める」署名は、それぞれ119筆、187筆でした。



6.9 行動(水戸南口にて)

署名に協力してくれた女子中学生の一人が「わたしは将来、安心して子どもを産みたい。」との言葉に私たちも大いに励まされました。意識を新たにしていきたいと感じました。(柳)

(一面のつづき)

ニュージールランド平和評議会・
名誉会長

・ジェラルド・オブライエン

私たちは、みなさんの長年の献身活動に心を打たれています。個人的なことですが健康上の理由で、あなたがたのように人類の生存に関わる活動に参加できていないことを残念に思っています。

原水協との関係を大変光栄に思い、あなた方の偉大な運動を生涯にわたり支援していくことを約束します。非核ニュージールランドから平和を。

イタリア反戦連合

世界女性行進

・パオラ・マンドウーカ

ありがとうございます。ご無沙汰しますが、お元気ですか。このニュースをみんなに回します。

インドデシユバンドウ紙

・編集長

・ラリット・スルジャン

ありがとうございます。連帯の意を込めて。

協力に
深く感謝致します。

「ちひろカレンダー」の注文が2,000本を突破しました。
被災地への支援は、150本を福島へ届けました。

お礼のFAXニュースがありました。

昨年から暮れにかけて取り組んでいたきました「ちひろカレンダー」の注文が、今年(昨年12月)は、2016本となりました。ご協力ありがとうございました。ご協力ありがとうございます。その内、「被災者の住宅へ贈りましょう」と呼びかけたカレンダーは150本となり、昨年12月下旬、日本原水協を通じて福島県原水協へ6箱、25本入りを送ることができました。ご協力に深く感謝致します。

原発を再稼働させないと
停電になる??

政府は、依然として原発に固執、全国すべての原発が今年中に定期点検などで止まることになりそうです。しかも、ストレス・テストをクリアすれば試運転、そしてそのまま再稼働させようとの狙いようです。

「原発を稼働・建設しないと停電になる」という宣伝は、原発に依存しすぎると停電になるということです。「エネルギー危機」の叫びは、かつて太平洋戦争の時に「満州は日本の生命線」と言ったこととダブってきます。御用学者の語録をいちいち覚えてはいませんが、次の一文を紹介します。

重要な自治体の役割

環境放射能の監視を地域住民の立場からしっかりと行うには、何といつても自治体の姿勢が大切。

自治体が電力企業とは独立に監視を実施し、その結果を科学的に解析して住民に公表しつづけて、電力企業との間に好ましい

『素人の発言をわらう場面をしばしば目にしました。科学と技術が資本と政治の召使になり果てた現代では、「無知な」庶民のおそれこそ、人類の英知の結晶といえるのではないでしようか?』

「原発問題シンポ福島報告集」電力不足を回避するには、原子力ムラを解体し、多くの国民の願いでもある水力などのほか、他の自然エネルギーへシフトしていくことが求められています。

(柳)



緊張状態をつくり出すことが不可欠である。

原子力の安全を求める運動は、その点でも、住民の意思を反映した自治体づくりの活動と結びついている。

《図説・原子力読本》より》

山岡淳一郎著

「原発と権力」ちくま新書

戦後から辿る支配者の系譜

「広島、長崎の悲劇くり返すな」と市民が人道的に反対する一方で、左右両翼に原発人脈が形成されている。

その人脈の一端は戦中の「大政翼賛会」に連なる。軍国を陰で支えた官僚は生き残り、経済成長に狙いを絞って統制的手法を再起動させた。原子力は、支配体制を再構築するには格好の標的だった。

書籍紹介

編集後記



「君がため 春の野に出て若菜摘む わが衣手に 雪は降りつつ」

はや、こんな季節になりました。ビギニデーも間近です。過去の出来事として埋没させないようにはしようではありませんか。

(柳)